

「クライミングに挑戦！」

5年生 宿泊研修 6月13日~14日 「ネイパル深川」へ

6月13日(火)~14日(水)、深川市にある「ネイパル深川」にて1泊2日の宿泊研修を実施しました。

研修では、滝川市にある滝川美術自然史館・こども科学館にてティラノサウルス等の骨格標本を観察したり、B&G海洋センターにて、カヌーに乗ったりしました。また、ネイパル深川では、クライミングや焼き板づくりに挑戦するなど、学校の中ではできない体験をし、充実した2日間を過ごしました。

5年生の子どもたちは、仲間と助け合いながら、有意義で楽しい時間を過ごし、絆を深めることができた様子です。



「焼き板制作」 「こども科学館での体験活動」 「美術自然史館にて地球誕生の学習！」 「カヌーに乗りました！」

音楽集会「つどい」

7月4日(火)に、全校児童が体育館に集まり、音楽集会「つどい」を行いました。

数年ぶりに、五条っ子の歌声が体育館中に広がりました。

第1回目となる「つどい」では、発声練習の後、校歌を歌いました。2学期には、「Wish~夢を信じて」という歌を練習し、全校で合唱する予定です。

6月28日(水) 地域ピカピカ大作戦

6月28日(水)、全校児童で地域をきれいにする奉仕活動を実施しました。この活動は、明星中学校区の4校(東五条小、新富小、正和小、明星中学校)で、自分たちの住む地域を、自分たちの手できれいにしようというねらいのもと行いました。

また、この日は、新旭川地区市民委員会より7名の方が参加し、五条っ子と一緒に活動してくださいました。

子どもたちにとって、自分たちにできることを考え、実際に行動する大切な機会となりました。



お知らせ

明日から夏休みが始まります。事故やけが、熱中症等に十分気を付けて、充実した毎日をご過ごしましょう。

○学校閉庁日

8月10日(木)・14日(月)
15日(火)

○諸費引落日

8月7日(月)

○2学期始業式

8月21日(月)
特別日課：全学年4時間
下校時刻 12:10~
※給食はありません。

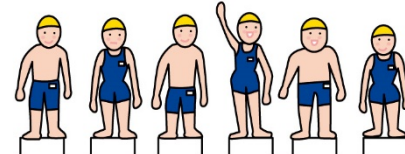


旭川市教育委員会からの お知らせ

今年度から、旭川市の予算で学校のトイレに生理用品を配備することになりました。必要になった時に、気兼ねなく使用し、安心して生活できるようにとのことからです。本校では、3階の女子トイレに配備しました。

なお、配備した生理用品につきましては、(株)ツルハ様がこの取組に賛同し、寄附してくださったものであることをお知らせいたします。

プールの使用について



今年度は、夏季休業中もプールを使用できます。

【夏季休業中の開放期間】
7月24日(月)~8月4日(金)
※平日のみ使用できます。

【開放時間】

午前：10:00~12:00
午後：13:00~15:00
使用のきまりを守って、楽しく安全に泳ぎましょう！

「立ち止まって考えること」

校長 三浦 一路

6、7月とは思えないほどの蒸し暑い高温の日が続いたり、急に風雨が強まったりするなど、「北海道の夏は爽やか」という表現が必ずしも当てはまらなくなっていきます。学校では、幸い熱中症が疑われるケースはありませんでしたが、8月もまだまだ暑い毎日が続きます。夏休み中も、水分や塩分補給等の熱中症対策や、天候急変時の対応などへの声掛けを続けていただければと思います。



先日、NHK「クローズアップ現代」で、大人の言葉が子どもの脳の発達に与える影響について、最新の研究で分かってきたことが紹介されていました。それによれば、「あなたなんて生まれなければよかった」などと子どもの価値を下げたり、きょうだいと比較したり、成果を強要したりといった「不適切な言動」を受けた子どもたちは、周りとの関係づくりが苦手になることや、軽度のストレスに対してもぜい弱になり精神疾患につながる可能性が高まるということでした。

また、最も影響を受けやすいのは16~18歳の時期で、「体罰」や「ネグレクト」と同じくらい、「不適切な言動」を受けた子どもが問題行動を起こしやすくなるということも分かってきたとされていました。

私自身の子育てを振り返れば、はっと思うことが多くありました。「よい子に育てなくては」とか、「勉強もよくさせなくては」と思う一方、親自身も日々の生活に余裕がなく、つつい子どもを追い詰めてしまう言葉を掛けていたのではと思います。また、教師としてもしかりです。いつも笑顔で受け入れてあげたいのに、わが子の言動にいらいらし、気付けば声を張り上げてしまうといった親としての葛藤は、多くの方が感じていらっしゃるのではないのでしょうか。

番組では、そうした現状から、「ポジティブ・ディシプリン」という、子どもと向き合う考え方が注目されていると紹介されていました。

この子育てプログラムは、①長期的な目標を決める ②温かさを与え、枠組みを示す ③子どもの考え方・感じ方を理解する ④課題を解決する という四つの段階から成り立っていて、①が土台となるそうです。子育てで感じる葛藤やストレスの多くは、「短期的な目標」に起因していて、例えば、「早く朝ご飯を食べてほしい」「早く顔を洗ってほしい」など、目標を目の前の状況においてしまうと、朝からストレスが生じます。それに対して、「自分で考えて行動できるようになってほしい」とか「他人にやさしくできるようになってほしい」といった「長期的な目標」を道しるべにできれば、毎日が完璧ではなくても親にも余裕が生まれるとされています。教師も同じことが言えます。

詳細はNHKのホームページの記事をぜひご覧ください。

自分の子育てに悩みも葛藤も感じないという方は稀だと思います。わが子に幸せな人生を歩んでほしいと願うからこそその悩みと言えます。そしてそれは、壮大な答えのない難問なのかもしれません。子育てについて、毎日ゆっくり考えるゆとりは、なかなかないと思いますが、明日から子どもたちは30日間の長期休業となります。大人も少し肩の荷を下ろし、どんな子に育ち、どんな人生を歩んでほしいか、時には立ち止まって考えることも大切かも知れませんね。



1学期中、本校の教育活動への温かいご支援に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。子どもたちが安全に楽しい夏休みを過ごし、夢と希望を膨らませて始業式に張り切って登校してくることを楽しみにしています。

学校だより

東五条

令和5年7月

東五条小学校発行

第265号

東五条小学校

教育目標

かしこ
ゆたかさ
たくましさ